

平成19年度

6 学年 理科 授業計画

広島市立 石内小学校

教科の目標

自然に親しみ、見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

評価の観点

- ・自然事象を意欲的に追求し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめてみようとする。
- ・自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、多面的に追求し、相互関係や規則性をとらえ、問題を解決する。
- ・問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
- ・生物は互いに類似した体のつくりと働きをもち環境とかかわって生きていることや、物に外から条件を加えると物の性質や働きが変わること、土地のつくりと変化には決まりがあることなどを理解している。

評価の方法

学習態度 実験態度 発言 発表 ノート テスト

学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	ものが燃えるとき	・植物体が燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができることを知る。
	ヒトや動物の体	・体内に酸素が取り入れられ、体外に二酸化炭素などが出されていることなどを知る。 ・食べ物、口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかったものは排出されること知る。
	生物とかんきょう	・血液は、心臓のはたらきで体内を巡り、養分、酸素および二酸化炭素を運んでいることを知る。 ・植物の葉に日光が当たるとでんぷんができることや、生きている植物体や枯れた植物体は動物によって食べられることを知る
	水よう液の性質	・生物は、食物、水および空気を通して周囲の環境とかかわって生きていることを知る。
後期	大地をさぐる	・水溶液には、金属を変化させるものがあることを知る。 ・水溶液には、酸性、アルカリ性および中性のものがあることや、気体が溶けているものがあることを知る。
	大地の変化	・土地は、礫、砂、粘土、火山灰および岩石からできており、層をつくって広がっているものがあることを知る。 ・地層は、流れる水のはたらきや火山の噴火によってでき、化石が含まれているものがあることを知る。
	電磁石のはたらき	・土地は、火山の噴火によって変化することを知る。 ・土地は、地震によってへんかすることを知る。
	自然とともに生きる	・電流の流れているコイルは、鉄心を磁化するはたらきがあり、電流の向きが変わると、電磁石の極が変わることを知る。 ・電磁石の強さは、電流の強さや導線の巻き数によって変わることを調べる。 ・わたしたちのくらしが自然と深くかかわっていることを知る。